

# ひょうごの遺跡

平成7年9月30日発行  
兵庫県教育委員会  
埋蔵文化財調査事務所  
神戸市兵庫区荒田町2-1-5  
☎652 TEL078-531-7011  
FAX078-531-7014

阪神・淡路大震災特集

## 復興と埋蔵文化財

### はじめに

月日が経つのは本当に早いもので、かの阪神・淡路大震災から春、夏と季節は巡り、秋を迎えました。この間、多くの皆さま方から、心あたたまご援助と励ましのお言葉をいただき、私どもはその一つ一つに感謝するとともに、県土の復旧・復興に向けて、決意あらたに立ち上がっています。

大震災は、遺跡そのものに大きな被害をもたらすと同時に、復旧・復興に伴う建設工事等による埋蔵文化財の発掘調査量を膨大なものにしたことは、ご案内のとおりです。

しかし、幸いにして、文化庁のいち早い基本方針の策定とご指導をはじめとして、各都道府県のご理解とご協力により、磐石の発掘体制を敷くことがで

きました。もとより、その中心は、北は福島県、南は福岡県におよぶ全国2府14県から、支援のために派遣いただいた、25名の埋蔵文化財専門職員の方々であることは、言を待たないところです。

復旧・復興の槌音が高くなり、埋蔵文化財の発掘調査が軌道に乗り始めた折をとらえ、調査の進み具合や支援職員の皆さん方のご活躍ぶりをお知らせするため、『ひょうごの遺跡』震災特集号を発行いたしました。

ご高覧のうえ、一層のご理解とご支援を賜われれば幸いです。

所 長

青 木 正 之



復興する街と埋蔵文化財発掘調査（神戸市東灘区；住吉宮町遺跡）



## 復旧・復興事業と埋蔵文化財

今回の大震災は、神戸市をはじめとする10市10町を中心に大きな被害を与えました。埋蔵文化財についても例外でなく、被災した遺跡は280遺跡、その面積は253.6haという広範囲におよびました。

埋蔵文化財の取扱いについては、復旧・復興が急務であることを考え、復旧・復興事業の円滑な推進と埋蔵文化財の保護との整合を図るために、法的な緩和措置、財政的な措置を行い、人的な応援を受けてその対応にあたっています。

### 法的な緩和措置

文化庁から「阪神・淡路大震災の復旧・復興事業に伴う埋蔵文化財の取扱いに関する基本方針について」という通知があり、県・市町教育委員会は従来の取扱いを緩和し、被災地の実情に合わせた適切な措置がとれるよう整備に努めています。

### 財政的な措置

文化庁は復旧・復興事業関連の埋蔵文化財緊急発掘調査費を大幅に増額し、従来より補助の対象範囲を広げ、本県と市町教育委員会が協力して発掘調査を行うことになりました。

### 人的な支援措置

地震による被害の大きさを考えて、全国知事会では会長名で各都道府県知事あてに支援職員の派遣の依頼を行いました。

県も、今回の大震災の復旧・復興は県内の専門職員だけでは対応できないと判断し、自治省に応援を求めました。自治省と文化庁は各府県と調整を行いその結果、本県教育委員会は6月1日付けで各府県から、25名の専門職員の派遣を受けました。

このように、一日でも早い街の復興を願い、埋蔵文化財保護の適切な取扱いに努めています。



崩れた明石城の石垣（明石市）

## 支援職員の調査現場から

みちのした  
道ノ下遺跡（尼崎市武庫之荘8丁目）

尼崎市営住宅の建替えに先立ち、市町支援の発掘調査を行ったところ、12世紀中頃から13世紀中頃の屋敷跡が発見されました。屋敷跡からは母屋など3～4軒の掘立柱建物や井戸がみつかり、瓦器碗や土師器皿などの日常の雑器のほか、中国で作られた青白磁合子やガラス小玉などの貴重品も出土しました。このあたりが鎌倉時代には「野間荘」と呼ばれる荘園であったことから、この屋敷の住人は実際に荘園を経営した名主等の有力者であったと思われます。



すみよしみやまち  
住吉宮町遺跡（神戸市東灘区住吉宮町）

共同住宅の建替えに先立ち、市町支援の発掘調査を行っています。以前に行われた周辺の調査では古墳時代後期（5世紀後半～6世紀後半）の古墳群が発見されています。今回はまだ調査を始めたばかりですが、古墳の表面を覆ったと思われる石がしだいに顔を見せ、その周辺からは埴輪や須恵器などが出土しはじめています。このほか、奈良時代の掘立柱建物や遺物なども出土しており、調査が進めばこの地域の古墳時代から奈良時代の様子がしだいに明らかになっていくものと期待しています。





## 支援職員の素顔

復興支援のため、全国16府県より集まった25名の埋蔵文化財専門職員は、発掘調査を数多くこなしたベテランから新任の若手職員まで、様々な人たちで、年齢別にみると20歳代11名、30歳代10名、40歳代3名、50歳代1名で、最年長は52歳、最年少者は23歳です。ちなみに最年少者の父親は47歳だそうです。この最年少の人は、父親より年上の職員と調査を行っています。支援職員は全員男性で、なぜか独身者が大半です。



ありはな  
有鼻遺跡での支援職員（三田市けやき台）

現在、県事業の発掘調査と市町を主体とする発掘調査支援の現場で第一線に立っています。発掘調査では派遣元府県と調査方法が異なることもあり、遺構の掘り方や図面の書き方について、職員同士何度も話し合いを重ねることもありました。また急な赴任のため、派遣元で処理仕切れなかった仕事を抱える職員も多く、調査を行いながら、そうした仕事をしなければならない等、慣れない土地で苦労の連続です。

それでも3か月が過ぎて、ようやく兵庫県での生活に慣れはじめ、休日は神戸の街でショッピングをしたり、県の文化財等を見学しています。



ながたのだ  
調査記録をとる支援職員（神戸市；長田野田遺跡）

## 支援職員のひと声

私たちが兵庫県に赴任してくるにあたって、ある不安がありました。それは「このような状況下で埋蔵文化財の調査に対する理解を得ることができるのだろうか。」というものでした。

しかし、実際に被災地へ出て調査を行う中で「埋蔵文化財の調査が復興を妨げる。」「こんな時に何をしてるのか。」という非難の声を聞くことはほとんどありませんでした。興味をもつてのぞきに來られる人々の姿も、今までの調査と何ら変わりありません。むしろ私たちのことも復興のために頑張っている仲間として扱ってくれているように感じます。

復興に伴う調査はまだ始まったばかりであり、今後さまざまな問題がもち上がってくることと思いますが、この街がより良い復興を果たせるよう、これからも地元との協力が必要でしょう。

私の現場は火災による被害が大きかった神戸市長田区にあります。焼け跡には草が生え、トンボの群れに猫がじゃれついています。昼食をとる食堂も仮設のプレハブです。ここでは復興の様子を語る生の声も聞くことができます。「神戸もすっかり田舎になってしまった。」と笑うおばさんに神戸への愛情の強さと復興への確かな息吹を感じます。

（支援職員G）



かぐら  
神楽遺跡の調査風景（神戸市長田区）



おあたちょう  
大田町遺跡の調査風景（神戸市須磨区）



## 支援職員の皆さん

No.	府県名	職 名	氏 名
1	福島県	技術職員	小野田義和
2	群馬県	主 任	矢口 裕之
3	千葉県	技術職員	神野 信
4	山梨県	技術職員	小林 健二
5	長野県	技術職員	川崎 保
6	岐阜県	主 任	長屋 幸二
7	静岡県	調査専門員	中嶋 郁夫
8		技術職員	菊池 吉修
9	滋賀県	調査専門員	兼康 保明
10		技術職員	北原 治
11	京都府	技術職員	森 正
12		技術職員	岸岡 貴英
13		技術職員	石崎 善久
14		技術職員	藤井 整
15	大阪府	技術職員	枡本 哲
16		技術職員	岡本 敏行
17		技術職員	福宜田佳男
18		技術職員	横田 明
19	奈良県	技術職員	廣岡 孝信
20	和歌山県	主任調査専門員	菅原 正明
21		技術職員	黒石 哲夫
22	鳥取県	技術職員	家塚 英詞
23	岡山県	技術職員	岡本 泰典
24	香川県	主 任	木下 晴一
25	福岡県	技術職員	秦 憲二

## 阪神・淡路大震災復旧・復興事業に伴う発掘調査一覧（9月30日現在）

## 〈受託調査〉

No.	遺 跡 名	所 在 地	事 業 名	遺 跡 の 概 要
1	有鼻遺跡（その1）	三田市けやき台	北摂地区新住宅市街地開発	弥生時代の集落跡
2	有鼻遺跡（その2）	三田市けやき台	北摂地区新住宅市街地開発	弥生時代の集落跡
3	日高・上石遺跡	城崎郡日高町上石	県営日高国府住宅建設	奈良～平安時代の集落跡
4	貴船神社遺跡	津名郡北淡町野島	県道福良江井岩屋線道路改良	古墳時代の製塩遺跡
5	明 石 城 跡	明石市明石公園	県立明石公園石垣都市災害復旧	明石城跡の石垣復旧に伴う調査

## 〈市町の支援の調査〉

No.	遺 跡 名	所 在 地	事 業 名	遺 跡 の 概 要
1	大 田 町 遺 跡	神戸市須磨区大田町	共 同 住 宅 建 設	奈良時代の集落跡
2	長 田 野 田 遺 跡	神戸市長田区野田町	共 同 住 宅 建 設	奈良時代の集落跡
3	郡 家 遺 跡	神戸市東灘区御影町	共 同 住 宅 建 設	古墳時代の集落跡
4	桜ヶ丘B地点遺跡	神戸市灘区桜ヶ丘町	共 同 住 宅 建 設	弥生時代の集落跡
5	日 暮 遺 跡	神戸市中央区筒井町	地 盤 改 良	中世の集落跡
6	神 楽 遺 跡	神戸市長田区神楽町	工 場 建 設	古墳時代の集落跡
7	住吉宮町遺跡	神戸市東灘区住吉宮町	共 同 住 宅 建 設	古墳、奈良時代の集落跡
8	有岡城跡・伊丹郷町	伊丹市伊丹	公 衆 浴 場 建 設	江戸時代の集落跡
9	柏 木 古 墳	伊丹市柏木町	共 同 住 宅 建 設	古墳時代の円墳の周濠跡
10	北 村 遺 跡	伊丹市錦物師	土 地 区 画 整 理 事 業	中世の集落跡
11	道ノ下遺跡	尼崎市武庫之荘	尼 崎 市 営 住 宅 建 設	中世の集落跡
12	加 茂 遺 跡	川西市南花屋敷	共 同 住 宅 建 設	弥生時代の集落跡

## 〈お知らせ〉

このほど、復興調査専用の電話とファックスが設置されました。

TEL 078-512-2801

FAX 078-512-2804



©Tezuka Productions

## 《編集後記》

1月17日の未明、突如として起こった地震は多くの命を奪い、多数の建物を壊してしまいました。当事務所では復興事業を円滑に進めるため、支援職員25名、県職員12名からなる「復興調査班」を設置しました。今後の復興に尽力できればと思います。◇この情報誌も、震災の影響で休刊状態となっていました。街の復興の掛け声とともに、ようやく復刊の運びとなりました。◇今回は復刊を急ぐということで、誌面を簡略化しましたが、今後はより充実した埋蔵文化財調査情報をお伝えしたいと思います。